

北病院 耳より情報



「目に注目」

北病院外来
糖尿病看護認定看護師

前田 るみ

“目には青葉山ホトトギス初鯉” 目にも鮮やかな「青葉」、美しい鳴き声の「ほととぎす」、食べておいしい「初鯉」と目から耳から舌から季節を感じる5月。

さて今回は「目と糖尿病」についてです。糖尿病の3大合併症のひとつに糖尿病網膜症があります。かなり進行するまで自覚症状がない場合もあり、「よく見えるから大丈夫」「忙しくて」「わざわざ眼科で検査受けるの？」と眼科受診が先延ばしになる場合があります。網膜は眼底にある薄い神経の膜で、光や色を感じる神経細胞が敷き詰められ、無数の細かい血管が張り巡らされています。血糖が高い状態が長く続くと、網膜の細い血管は少しずつ損傷を受け、変形したりつまったり、もろくて簡単に出血する新しい血管をつくったりして視力障害へと進みます。重症になると血糖が安定していても網膜症は進行します。特に年齢が若いほど進行は早く注意が必要です。定期的に眼科受診することで網膜症の程度が分かり、悪化を防ぎ適切な治療につなげることができます。糖尿病と言われたら「目に注目」して下さい。